

第26回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1995年7月21日(金) 9:30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

(1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

4. 審議事項

(1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

標記の件について、動力炉・核燃料開発事業団から

- ・電気事業連合会からの経済性を重視した要望は理解できるが、研究開発を続けてきた動力炉・核燃料開発事業団としては、残念であり、重く受けとめている。
- ・約30年間の研究開発の経緯と成果の今後の活用、発展が重要。できるだけ早期の結論とりまとめを期待する。
- ・経済性ととともに、総合的な視点からの新型転換炉とプルサーマルの位置付けを明確化し、プルトニウム利用を実用化に向け着実に推進することが重要である。
- ・ナショナルプロジェクトについて、官民の役割分担と協力関係及び技術移転のあり方を見直しが必要である。
- ・動力炉・核燃料開発事業団としては、今後とも長計の実現に向けて各種業務を推進していきたい。

等の説明があり、審議した結果、

- ・動力炉・核燃料開発事業団では、新型転換炉実証炉の設計について、現行の実証炉の設計以上に経済性の向上を図ることはできないか。
- ・今後の「ふげん」の運転についてはどのように考えているのか。
- ・新型転換炉と、プルサーマルの位置付けについて、特にバックエンドとの関係において、良く検討する必要がある。

等の意見があり、引き続き審議することとした。